

学生全日本優勝に喜び

岡崎城西高出身の岡田選手

パワーリフティング

昨年十二月に兵庫県で開催された第四十八回全日本学生パワーリフティング選手権大会で、岡崎城西高校（岡崎市中園町）出身の岡田和磨選手（三）が愛知学院大三年生が優勝した。八日に岡崎市役所を訪れ、中根康浩市長に喜びを報告した。

バーベルを肩にかけて屈伸する「スクワット」、あおむけの姿勢でバーベルを持ち上げる「ベンチプレス」、床に置いてあるバーベルを引き上げる「デッドリフト」の三種目で総重量を競う。岡田選手は53キロ級に出場し、総重量375キロで優勝。デッドリフトでは180キロを挙げ、全日本学

生記録を5キロ更新した。

「高校の全国二位が最高成績だったので優勝は初めて。うれしかった」と笑顔で振り返った。大会一カ月前から野菜とタンパク質中心の食生活で約七キロ減量し、トレーニングに励んだことが優勝につながった。次の全国大会に向けては「総重量とベンチプレスも記録を更新したい」と目標を掲げた。中根市長は「大会に向けた集中力がすごい。連覇と記録更新を目指してほしい」と激励した。

同じく岡崎城西高出身で愛知学院大三年の土屋潤人選手（三）も、59キロ級で優勝し、スクワットとベンチプレスで全日本学生記録を樹立した。（土屋あいり）



パワーリフティングの全国大会で優勝した岡田選手＝岡崎市役所で